

民主なかつ

日本共産党
中津市議団発行

2020年9月
555号
中津市牛神
FAX
22-3436

コロナパンデミックの下、

市民の仕事くらしの安心、子ども達の
健やかな成長のために全力で奮闘！！

9月議会では、前号でご報告しましたよ
うに荒木ひろ子議員が、会派を代表して代
表質問を行いました。

今号では、川内やちよ議員、三上ひでのり
議員の一般質問の一部をご報告します。

○川内議員くコロナ禍の下で市民の仕事く
らしを支援する施策がありますが、その支
援を受ける条件に、税金の完納があります。
本当に困っているのです、その条件の緩和を
検討すべきではないですか。

▽担当部長く

○猛暑の中で、熱中症が多発しています。と
りわけ、低所得者の方、生活保護を受給され
ている方は、エアコンがなかったり、有って

も電気代を心配して、利用していないとい
うことを伺います。

安心して生活できるよう支援すべきでは。

▽担当部長く緊急の場合、市社協と協力し
て、貸付金で対応しています。生活保護の場
合、措置費でエアコンの購入が平成30年
度から、認められるようになりました。

○川内議員く「3密」を避けるためにも、小
人数学級に市独自でも取り組むべきでは。

▽教育次長く現在、学級編成は県の基準で、
行っている。30人学級にすると、40の教
室を増やし、最低でも40人に教員が必要
なので、市独自で考えていない。県や国に少
人数学級の実現は、要望していきます。

！・・・・・・・・・・・・・・・・！！

○三上議員く2018年(平成30年)に被
災し、19年に復旧工事が完成し、そして今
年の7月豪雨災害で、また同じように被災
した農地が、あることについて把握されて
いますか。

▽担当部長く把握しています。

○三上議員く復旧工事は、「施工方法、業者
選定は」奥塚市長に一任するという承諾書

を追徴して行っていますので、工事の責任
は全て市にあります。平成19年災害では、
分担金を免除していますが、今回は減免す
べきでは。

▽担当部長く19年は資料がないので、確
認できない。分担金徴収条例に基づいて対
応する。

○三上議員くこの農地は、平成19年、24
年、30年そして今年また被災しました。分
担金徴収条例適用可否の判断について、こ
の場で見解を表明できるのは、市長しかい
ないと思いますが、市長如何ですか。

▽市長く・・・・・・・・（無言）なので、担
当部長が繰り返し返しの答弁を行う。

市民の皆さん。どう思いますか。16年間
に4回の被災。1昨年被災、昨年復旧工事完
成、そして今年また同じように被災。

被災された農家の事を考えると、分担金
の減免は当然で、昨年徴収した分担金は返
還するのが、世の常識ではないでしょうか。

前市長の時には実施され、現行条例の運
用でも可能性があるので、分担金の減免実
現に引き続き全力を尽くします。

請願第2号 耶馬溪町大野水路整備に関する請願書

【請願趣旨】当地域では、高齢化（平均年齢75歳）の著しい波に加えて過疎化が急激に進行する中であって、地域の農業を維持して耕作放棄地を増やさないように力を注いでいるところです。しかしながら、農業用水路は半世紀以上を経過して、経年劣化が著しく水路の各所で漏水が見受けられます。また、年1回の組合員における水路の管理整備を実施している作業の継続も年々困難になっています。

さらに、水路掃除の参加者も激減している現状です。

このような現状に鑑みて、組合での水路の確保と管理整備は困難を極めているため、行政の援助を賜り農業生産の維持保全を実施することで、過疎化や耕作放棄地の減少に努め、地域活性を取り戻すことを目指して連署を持って請願する次第です。

さらに、当地域では、国の推進事業である地元小学校の農業体験等の実施に加えて地域の教育資源の活用によって、子どもの教育環境を整え、集落の活性と安寧を守る役割を果たしています。

また、同時にこの水路は県道の排水側溝の重要な役割を担っています。

そこで、行政の力をもって災害防止のための経済面と技術面の知啓を導入していただきたいと切に願っております。

耶馬溪町津民・大野地区住民90%以上の署名を添えて、水路整備に関する請願書を議会に提出

耶馬溪町津民・大野地区代表6名の方が、地区住民93.6%の署名を添えて、議長に請願書が提出しました。その請願書は、9月1日の開会日に、本議会に提案されました。

請願を取り組んだ皆さんは、請願を審査

する教育建設産業委員会（角 委員長）で、

議会活性化の取組の中で定められた「意見

陳述制度」を利用して、「自分たちの意見を

述べたい」と意見陳述の申し出をしました。

しかし、委員会では、申し出に賛成したの

が川内やちよ議員、千木良孝之議員の2名

で、賛成少数のため認められませんでした。



賛成しな

かった議員

の意見は「こ

ういう請願

を認めたら、

今後大変な

ことになる。」

「紹介議員

いるから、そ

れでよい。」

という主旨

でした。

紹介議員を引き受けた三上英範議員は、「市民の声を市政に伝えることが、議員の最大の仕事。水路の整備は、特に、中山間地域の水田ではどこでも直面している課題です。そして、この請願は、過疎化、高齢化が進行する下で、今住んでいる地域で諦めないうで頑張って住み続けようという意思表示でもあると思います。請願の採択のために、全力を尽くします。」と述べていました。

なお、請願者の意見陳述は認めませんでした。教育建設産業委員会は、9月11日現地調査を実施しました。